

特別展示 IPA茨城写真家協会の有志が撮影した震災後の茨城県内写真

『目撃写』 —大震災に茨城が揺れたその日から—

地底の奥底から吐き出されるような重低音の響きを伴い、そいつはやってきた。

直下型特有の真下からの突き上げ感は無い。大丈夫だろうと、そのままキーボードで入力が続けようとした。しかし、揺れは急激にその勢いを増幅させてきた。前後左右に揺れ始めたPCの大型モニターを気にしつつ、自分の周囲に落下物などの危険が無い事を確認。揺れは更に強さを増し、機材収納棚からカメラなどが宙を舞った。

携帯電話はもちろん不通。自他共に認める地震恐怖症な女房を会社を迎えに行くべく、車を出した。水戸駅南に位置する事務所まで普通なら5分。しかし、道路は大渋滞。車両は4輪駆動のRVタイプなので多少の障害は走破する覚悟で出発した。迂回をしつつ、約30分後に到着。あたりは液状化で噴出した砂と水、陥没し波打つ道路やボコボコに浮き上がった歩道のタイルが被害の甚大さを物語っていた。

その夜、辛うじて回線の接続ができたモバイルPCからメールとスカイプを使ってこちらの安否を東京と富山の実家に知らせた。ネットの接続が断続的だったため、外界がどうなっていたかの情報はほとんど判らなかった。電力が回復した翌日、テレビの電源を入れると、想像を絶する災害シーン が怒涛のように画面から噴き出してきた。 編集責任者:長屋 陽

自然現象と共存するには、学ぶしかない。

同時開催 スペシャルイベント

写真家トークショー 写真ファンのために、プロカメラマンが本音で語りあいます。 午後2時より4時まで

11/18(金) アマには教えたくないプロ機材のディープな世界。(出演)小沼渉/田澤純/及川隆史/斉藤佳代子
プロとアマは機材のどこが違うのか? これを知ればあなたもプロカメラマンに見えるかも。

11/19(土) 写真コンテスト最終選考に残るには?(出演)井上伸二良(茨城新聞社)/稲田浩男/高野経将/渡部仁
写真コンテストの入賞法を審査経験者が語り合います。ゲスト出演者は、茨城新聞社 編集局報道本部写真部 井上伸二良氏。

11/20(日) 写真のデジタル加工はどこまで許されるのか?(出演)稲田浩男/長屋陽/海老原豊/嶋田孝和
ここまでやっちゃあ、お終いか、それとも古くさ〜い考えなのか? 新世代デジタル写真のいろいろ。

11/21(月) 美しい写真プリントの達人をめざせ!(出演)工藤悦男(茨城フジ)/及川隆史/斉藤佳代子/大森通明
茨城フジカラーRP・デジタル大伸しプリント担当の工藤悦男氏も登場! きれいなプリントに仕上げる注文法やテクニックを公開。

11/22(火) カメラマニアのプロが言いたい放題。(出演)海老原豊/大森通明/石川典人/長屋陽
激論! キヤノン派 VS ニコン派 VS ソニー? それとも写真はレンズか? えっフォトショップだって??

Ibaraki Professional Photographers Association

IPA 茨城写真家協会展
2011 プロカメラマンの表現

県民文化センター / 一般展示室 茨城県水戸市千波町東久保697 TEL029-241-1166

県民文化センター
一般展示室 入場無料

11/18(金) - 23(水)
午前9時～午後5時・最終日は午後4時まで

主催・IPA茨城写真家協会 <http://www.artzone.co.jp/IPA/> 会員募集中 詳しくはサイトへ

IPA茨城写真家協会事務局 田澤 純 〒312-0063 ひたちなか市田彦1435-12 j studio TEL&FAX 029-276-0075

IPA写真展 お問い合わせ 海老原 豊 〒309-1634 笠間市福原2205 株式会社アートゾーン TEL 0296-74-2065

IPA茨城写真家協会会長 稲田浩男 〒309-1622 笠間市南吉原408-3 イナダスタジオ TEL & FAX 0296-72-0765